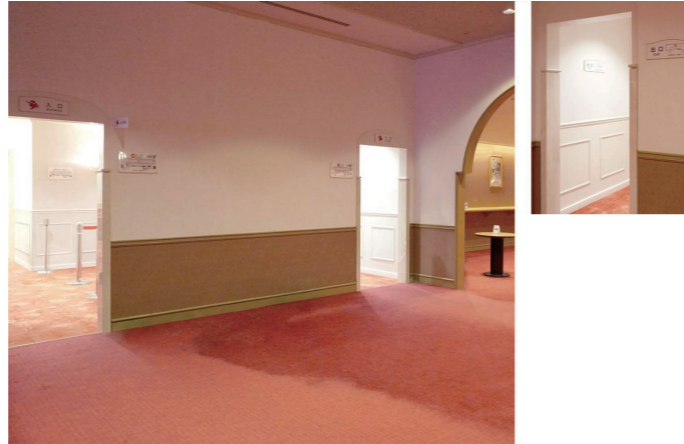


宝塚大劇場



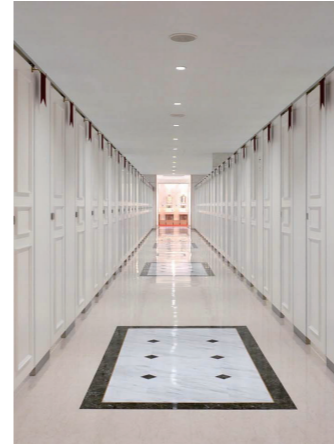
外観

宝塚歌劇の本拠地である「宝塚大劇場」は、観客を魅了する舞台で華やかな歴史を刻み続けてきた。このたび「夢、ここから」をコンセプトに、館内のリニューアルを実施。



劇場改札内1F
女性トイレ
入口

宝塚大劇場の改札内、ラウンジ横に設けられた女性トイレ。入口を2ヶ所に分けた一方通行の動線を採用、共通の出口へとスムーズに誘導している。



劇場改札内1F
女性トイレ
大便器コーナー

全63ブースのうち、48ブースが整然と並ぶ大便器コーナー。ブース扉に取り付けられた旗は扉の開閉と連動し、ひと目で使用状況を知ることができ、スムーズな利用を促している。



劇場改札内1F
女性トイレ
大便器ブース

ブース扉に取り付けられた旗は、光沢感のあるベルベット調の生地を採用しエレガントさを演出。メンテナンス性のよい掃除口付き大便器には、非接触で洗浄できるセンサースイッチとエコリモコンを採用している。



劇場改札内1F
女性トイレ
洗面コーナー

白を基調とした洗面コーナーは、框付きの鏡や大理石調の床が、高級感を演出。奥には、赤い絨毯敷の洗面空間が続き、宝塚歌劇らしい華やいた世界観を際立たせている。



劇場改札内1F
女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーには、高級感あふれるベッセル式洗面器と非接触で快適に手洗いができる自動水栓を採用。手洗い後の動線にクリーンドライを設け、衛生面と利便性を両立させている。



劇場改札内1F
女性トイレ
洗面コーナー

赤い絨毯やローズ柄のモザイクタイル、シャンデリアが彩る華やかな空間。スタイリングコーナーとして施工したが、コロナ禍の手洗い需要の高まりを受け洗面器を設置し、現在の空間となっている。(2013年施工)



劇場改札内1F
女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

赤い絨毯が広がる洗面空間の一角に、乳幼児連れ配慮のベビーシートとベビーチェアを設置。隣接するスタイリングコーナーにデコラティブなドレスサーと椅子を配置し、優雅華麗な世界観を演出している。(2013年施工)



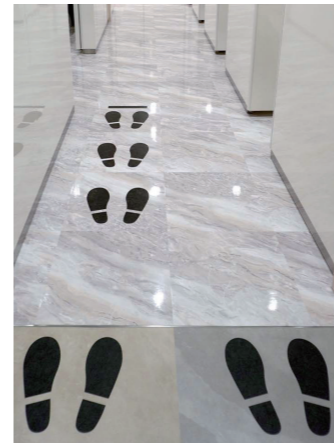
ショップ&レストランゾーン
女性トイレ・
男女共用多機能トイレ
出入口

ショップ&レストランゾーンの女性トイレは、アーチ型を取り入れた意匠のもと、一方通行の動線で入口と出口を分け、混雑を緩和。もともと別の場所にあった男女共用多機能トイレを再配置し、バリアフリー機能を整備。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
トイレ内通路

幕間などの混雑緩和に対応するよう、前室を広く取り、トイレ外周をぐるりと回るような、長い通路動線を設計。並んでいる間も、身繕いできるような鏡を設置し、利用者の快適性に配慮している。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
トイレ内通路



待機列のスムーズな誘導のため、通路は2列で並び、大便器コーナーの手前で1列に変更するよう案内を掲示。2列から1列へスムーズに並び替えるよう、床に足型サインを表示し、視覚的な誘導も促している。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
大便器コーナー



壁面に出口方向の矢印サインを随所に配置し、洗面コーナーまで迷わず移動できるよう誘導。さらに、扉の開閉と連動するサインも設置、空き状況をひと目で確認することができ、スムーズな利用を促している。

宝塚大劇場



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
大便器ブース

お子様連れのお客様に配慮し、ベビーチェア付きのブースを2ヶ所設置。ブース外にもサインを掲示し、お子様連れでも安心して利用できる。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーは混雑緩和を考慮。通路幅と使いやすさを両立させるため、壁掛洗面器に自動水栓と自動水石けん供給栓を採用している。さらに洗面器の間に設けたフックは、手荷物掛けとして使用できる。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーの一角にベビーシートを設置。視線に配慮しつつ、適度に仕切られた空間とし、乳幼児連れの方にも細やかな配慮がなされている。



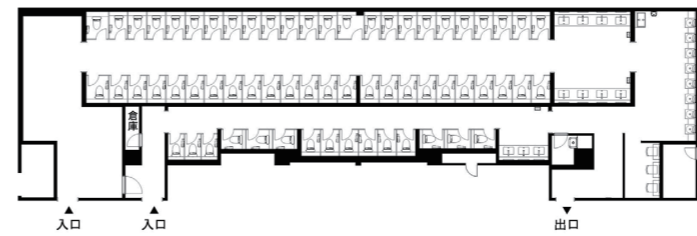
ショップ&レストランゾーン
男女共用多機能トイレ

もともと別場所にあった男女共用多機能トイレを再配置し、車いす使用者やオストメイトなど、多様な利用者に配慮した器具を設置。内装意匠もほかのトイレ同様、美しさと清々しさが満たされている。



ショップ&レストランゾーン
男女共用多機能トイレ

男女共用多機能トイレ内には、大型ベッドも設置され、車いす使用者や介助が必要な方の利用に配慮している。



劇場改札内1F
女性トイレ図面



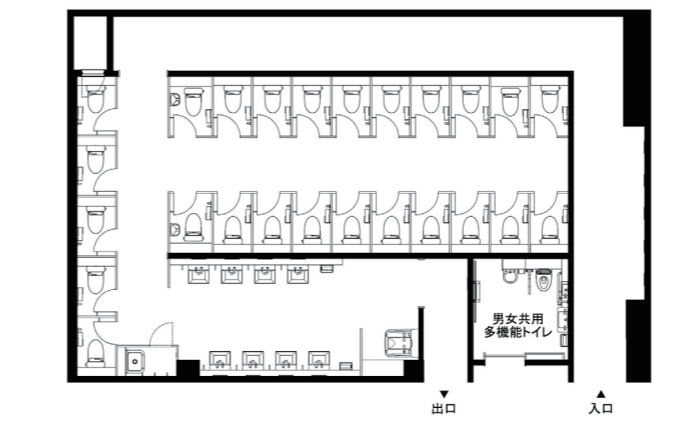
劇場改札内1F
女性トイレ 改修前

改修前の劇場改札内1Fトイレ。清掃は行き届いている一方で、年月を経た印象を感じさせるトイレ空間だった。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ 改修前

ショップ&レストランゾーンの改修前トイレ。器具は比較的新しく、清掃も行き届いていたが、幕間などを中心に利用者が集中しやすく、待機列がチケットカウンター付近まで伸びることもあり、混雑が大きな課題だった。



ショップ&レストランゾーン
女性トイレ図面

水まわりの特長

改修の経緯

「宝塚大劇場」は、宝塚歌劇の専用劇場として開場。客席数は2,550席を誇り、長年にわたり多くの観客を魅了している。2024(令和6)年より建物エントランスからロビー(大広間)までの「ショップ&レストランゾーン」のリニューアルに着手し、2025(令和7)年3月に全面リニューアルオープン。「夢、ここから」のコンセプトのもと、内装は111年間育まれてきた宝塚歌劇の魅力を受け継ぎ、館内に足を踏み入れた瞬間から「非日常感」「高揚感」を味わえるような空間。館内サービス機能も見直し、混雑緩和や利便性向上、多様な利用者に対応するためのバリアフリー設備の充実にも注力。あわせて大劇場改札内のトイレをはじめ、トイレ配置や器具、内装も一新し、安心して利用できる環境が整えられた。

トイレの特長

今回の改修工事では、宝塚歌劇らしさを感じられる空間づくりと混雑緩和を両立させたトイレの整備が目指された。館内全体でのトイレ配置を見直し、幕間など混雑時もスムーズに利用できるよう動線を最適化した。劇場改札内1Fトイレでは中世ヨーロッパ風の意匠を継承、ブース扉の開閉サインに光沢ある旗を採用するなど細部まで宝塚歌劇の世界観を演出している。ショップ&レストランゾーンのトイレは、スペースを拡張。前室通路の設置や出入口の一方通行化により待機列の解消を図った。器具は、非接触で洗浄でき掃除口付きの大便器、ベッセル式や壁掛式の洗面器を採用。車いす使用者やオストメイトに対応できる男女共用多機能トイレを整備するなど、だれもが安心して利用できる配慮が行き届かせた。

建築概要

名称	宝塚大劇場
所在地	兵庫県宝塚市栄町1-1-57
施主	阪急電鉄株式会社
設計	TOTOアクアエンジニア株式会社
施工	TOTOアクアエンジニア株式会社
竣工年月	(改修)2025年3月
敷地面積	37,119.78㎡
建築面積	10,017.40㎡
延床面積	39,730.00㎡
構造・階数	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造・地下1階、地上7階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BMC、CFS497BPC
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AEY
- ウォシュレットPS(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5554AUPR
- スベア付紙巻器:YH191 R/L
- 洗面器:LS707
- 壁掛洗面器:LSG722BAPMW
- スタンド洗面:MLRC系
- 台付自動水栓:TLE25SL2A
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ
- コンパクトバリアフリートイレバック:UADAK21R1A1ADD1WA
- 収納式多目的シート:EWC520ARN
- ベビーシート:YKA24N、YKA25N
- ベビーチェア:YKA15S
- フック:YKH52AR